

# ダウンロードされるドキュメントの「文字組みアキ量設定」について

この部分は  
行末約物の扱い  
についてね…

## 「文字組みアキ量設定」の種類

行中約物の最小値の異なる「ベタ\_A・B・C」(行末約物全角/半角ベースに3種)とそれぞれの行末約物の扱いを変更した4パターン(計15種)、「ツメ\_D・E・F」(3種)とその段落先頭1字下げ例(1種)をセットしてあります。

「ベタ\_A・B・C」「ツメ\_D・E・F」それぞれの使い分けについては、最小値や最適値を変更してありますので、**行長(1行の字詰数が長く余裕のある場合には「A/D」を、調整可能箇所が少なくなり行長が短い場合には「C/E」を……**という使い分けを想定しています。

## 設定の差01: 行中の約物

基本的に、行中の約物については区切りの強度から考えて、「句点類>読点類及び鉤括弧類>その他の括弧類及び中点類」というランク分けをしています。

さらに1行あたりの文字数によっては、必然的に調整可能な箇所(量)が少なくなりますので、ベタ組み用には最小値に段階を設けて3パターンの設定を、ツメ組み用にも3パターン(こちらは最小値・最適値を変更)をセットしてあります。

たとえば「A」は句点類は調整に使用しませんが、「C」は最小12.5%=8分アキまでツメルことを許容します。約物部分で均一に調整したい場合は、最小値をすべて「0%」とすればいいのですが、(余裕があるのなら)句点類には他よりも少しでも多くのアキを残したいとの考えから、その方法は採用していません。

		句点類	読点類・鉤括弧類	その他の括弧類	中点類
ベタ組み用	A	50/50/50	25/50/50	12.5/50/50	12.5/25/25
	B	25/50/50	12.5/50/50	0/50/50	0/25/25
	C	12.5/50/50	0/50/50	0/50/50	0/25/25
ツメ組み用	D	25/25/50	12.5/12.5/50	0/0/50	0/0/25
	E	12.5/25/50	0/12.5/50	0/0/50	0/0/25
	F	12.5/12.5/50	0/0/50	0/0/50	0/0/25

\*句点は「0%=アキなし」までツメルことはせず、最小でも「8分」のアキを確保しています  
\*「ベタ組み用\_C」は句点以外は平均的にツメルということでもあります  
\*すべて和:欧文間は「12.5%」、和:英数字間は「0%」を基本としています

## 無印(全角/半角)=約物50%/0%

行末約物:最小値0%/最適値50%/最大値50%

行末の約物は基本50%アキ(全角取り)、調整の必要に応じて最小値0%も許容しますが、中間値は採りません=二択  
=字送り均等(ベタ組みや均等1Hツメ組みなど)維持を重視し、不必要な調整はなるべく行わない設定といえます  
※プリセット:「行末受け約物全角/半角」

## ベタ\_A・半角=行末約物0%固定

行末約物:最小値0%/最適値0%/最大値0%

行末の約物は0%アキ(半角取り)固定で調整には使用しません  
当然、行長に満たない場合は伸ばし処理されます  
=版面への揃えを重視した設定といえます  
※プリセット:「行末約物半角」「行末句点全角」の「句点」部分以外)

## ベタ\_A・全角=行末約物50%固定

行末約物:最小値50%/最適値50%/最大値50%

行末の約物は50%アキ(全角取り)固定で調整には使用しません  
ここを調整に使用しないと、行頭・行中の設定にもゆとりが必要かも知れません  
当然、行頭の始め括弧類も全角取りとしてあります  
※プリセット:「約物全角」「行末句点全角」の「句点」部分)

## ベタ\_A・句読点全角=行末句読点50%固定

行末句読点:最小値50%/最適値50%/最大値50%

句読点以外:最小値0%/最適値50%/最大値50%

行末の句読点は50%アキ(全角取り)固定で調整には使用しません  
「ぶら下がり=あり」の場合に、3種類の行末が出現するのを避けることができ、かつ句読点は全角取りとなります

## ベタ\_A・句点のみ全角=行末句点50%固定

行末句点:最小値50%/最適値50%/最大値50%

句点以外:最小値0%/最適値50%/最大値50%

行末の句点のみ50%アキ(全角取り)固定で調整には使用しません  
(私には)使用場面はあまり想像できませんが……  
※プリセットの「行末句点全角」はその他の約物は半角固定

## 設定の差02: 行末・行頭の約物

行末及び行頭の約物については、ベタ組み用には、無印(行末約物全角/半角)をベースに、右の表のように4つのバリエーションを作成しました。

「(行末約物全角)全角(固定)」の場合は、当然行頭括弧類も全角固定ですが、その他の場合は(いわゆる)「天付き」としてあります。

「(行末)句読点全角」は「ぶら下がり=あり」の場合に、3種類の行末が出現するのを避け、かつ全角取りにしたい場合に有効でしょう。

ツメ組み用はすべて同じ設定で、特に問題はないのですが、使用書体によっては「-6%」(行頭/行末ラインを揃えようと意図した数値)の変更が必要となる場合も出てくるかも知れません。各自必要に応じてさらにカスタマイズしてください。

		行末句点類	行末読点類	行末括弧類	行末中点類	行頭括弧類
ベタ組み用	A・B・C 無印(全角/半角)	0/50/50	0/50/50	0/50/50	25/25/25	0/0/0
	A・B・C 半角	0/0/0	0/0/0	0/0/0	0/0/0	0/0/0
	A・B・C 全角	50/50/50	50/50/50	50/50/50	25/25/25	50/50/50
	A・B・C 句読点全角	50/50/50	50/50/50	0/50/50	25/25/25	0/0/0
ツメ組み用	A・B・C 句点のみ全角	50/50/50	0/50/50	0/50/50	25/25/25	0/0/0
	D	-6/-6/-6	-6/-6/-6	-6/-6/-6	0/0/0	-6/-6/-6
	E	-6/-6/-6	-6/-6/-6	-6/-6/-6	0/0/0	-6/-6/-6
	F	-6/-6/-6	-6/-6/-6	-6/-6/-6	0/0/0	-6/-6/-6

\*ベタ組み用の中点類は「半角」を除いて、すべて全角取り基本です  
\*ツメ組み用はすべて固定です(調整は行中でのみということになります)  
\*「段落先頭括弧類」は「行頭括弧類」と同じ扱いです  
\*変更する場合は基本設定画面での変更だけで大丈夫なはずですが(「-6%」などの特別な数値は除く)

## 補足: 段落先頭の1字下げ設定時の段落先頭及び行頭の括弧類の扱いについて

簡単なる方から解説しますと、ツメ組み時に段落先頭を1字下げする際には、**見た目「全角下がり(段落字下げ+始め括弧半角)」**が妥当でしょう。当然、折り返し改行後は「天付き(アキなし)」です。私の設定では段落先頭は「-6%」となっていますが、「段落1字下げ」を選択すると「段落先頭始め括弧類」の部分には「94%固定」と自動的に入ります(見本として「ツメ\_D\_段落1字下げ」をセットしてあります)。

ベタ組みの場合、基本設定画面の選択肢には**見た目「半角下がり(段落字下げ+始め括弧半角)」「全角下がり(段落字下げ+始め括弧半角)」「全角半下がり(段落字下げ+始め括弧全角)」**の3種類の選択肢があります。行末約物全角固定の場合のみ「全角半下がり」を選択し、折り返し改行後は**見た目「半角下がり(50%アキ)」**という組み合わせ

わせが妥当だと考えていますが、**その他の場合には、「全角半下がり」は採用せず、折り返し改行後は「天付き(アキなし)」**でいいでしょう。

※いずれにしても決められたルールに則りましょう。

※段落1字下げの設定は基本設定画面での設定だけで完了します。



\*00/00/00などの表記はすべて最小値/最適値/最大値の%表示を表わします  
\*InDesignの「環境設定」で「組版/CIDベースの文字組みを使用」のチェックはオン状態を前提としています

「文字組みアキ量設定」の全般的かつ詳細な解説については、+DESIGNING Vol.34・38をご参照ください

## \*行末約物の基本設定画面での設定など

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_A 単位: %

約物

起こし約物	行中	行頭	行末
始め括弧類	0% 固定		
受け約物			
終わり括弧類			50%/0%
読点類			50%/0%
句点類			50%/0%
中付き約物			
中点類			25% 固定

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_A・半角 単位: %

約物

起こし約物	行中	行頭	行末
始め括弧類	0% 固定		
受け約物			
終わり括弧類			0% 固定
読点類			0% 固定
句点類			0% 固定
中付き約物			
中点類			0% 固定

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_A・全角 単位: %

約物

起こし約物	行中	行頭	行末
始め括弧類	50% 固定		
受け約物			
終わり括弧類			50% 固定
読点類			50% 固定
句点類			50% 固定
中付き約物			
中点類			25% 固定

段落字下げ

段落字下げ: なし

段落先頭始め括弧類: 始め括弧全角

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_A・句読点全角 単位: %

約物

起こし約物	行中	行頭	行末
始め括弧類	0% 固定		
受け約物			
終わり括弧類			50%/0%
読点類			50% 固定
句点類			50% 固定
中付き約物			
中点類			25% 固定

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_A・句点のみ全角 単位: %

約物

起こし約物	行中	行頭	行末
始め括弧類	0% 固定		
受け約物			
終わり括弧類			50%/0%
読点類			50%/0%
句点類			50% 固定
中付き約物			
中点類			25% 固定

## \*ツメ用段落先頭1字下げ例

文字組みアキ量設定

文字組み: ツメ\_D\_段落1字下げ 単位: %

段落字下げ

段落字下げ: 1文字

段落先頭始め括弧類: 94% 固定

文字組みアキ量設定

文字組み: ツメ\_D\_段落1字下げ 単位: %

前の文字クラス: 段落先頭

クラス内容の例:

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	94%	94%	94%	なし
→	終わり括弧類	100%	100%	100%	なし
→	読点類	100%	100%	100%	なし
→	句点類	100%	100%	100%	なし
→	中点類	100%	100%	100%	なし
→	区切り約物	100%	100%	100%	なし
→	分離禁止文字	100%	100%	100%	なし
→	前置省略記号	100%	100%	100%	なし
→	後置省略記号	100%	100%	100%	なし
→	和字間隔	100%	100%	100%	なし
→	行頭禁則和字	100%	100%	100%	なし
→	平仮名	100%	100%	100%	なし
→	カタカナ	100%	100%	100%	なし
→	上記以外の和字	100%	100%	100%	なし
→	全角数字	100%	100%	100%	なし
→	半角数字	100%	100%	100%	なし
→	欧文	100%	100%	100%	なし

## \*行中約物の設定の差(一例)

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_A 単位: %

後の文字クラス: 上記以外の和字

クラス内容の例: 至理社阿婆婆抜始

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	-3%	0%	0%	なし
→	終わり括弧類				
→	終わりかぎ括弧	25%	50%	50%	なし
→	終わり丸括弧	9.5%	50%	50%	なし
→	その他の終わり括弧	12.5%	50%	50%	なし
→	読点類	25%	50%	50%	なし
→	句点類	50%	50%	50%	なし
→	中点類	12.5%	25%	25%	なし

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_B 単位: %

後の文字クラス: 上記以外の和字

クラス内容の例: 至理社阿婆婆抜始

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	-3%	0%	0%	なし
→	終わり括弧類				
→	終わりかぎ括弧	12.5%	50%	50%	なし
→	終わり丸括弧	-3%	50%	50%	なし
→	その他の終わり括弧	0%	50%	50%	なし
→	読点類	12.5%	50%	50%	なし
→	句点類	25%	50%	50%	なし
→	中点類	0%	25%	25%	なし

文字組みアキ量設定

文字組み: ベタ\_C 単位: %

後の文字クラス: 上記以外の和字

クラス内容の例: 至理社阿婆婆抜始

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	-3%	0%	0%	なし
→	終わり括弧類				
→	終わりかぎ括弧	0%	50%	50%	なし
→	終わり丸括弧	-3%	50%	50%	なし
→	その他の終わり括弧	0%	50%	50%	なし
→	読点類	0%	50%	50%	なし
→	句点類	12.5%	50%	50%	なし
→	中点類	0%	25%	25%	なし

文字組みアキ量設定

文字組み: ツメ\_D 単位: %

後の文字クラス: 上記以外の和字

クラス内容の例: 至理社阿婆婆抜始

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	-3%	0%	0%	なし
→	終わり括弧類				
→	終わりかぎ括弧	12.5%	12.5%	50%	なし
→	終わり丸括弧	-3%	0%	50%	なし
→	その他の終わり括弧	0%	0%	50%	なし
→	読点類	12.5%	12.5%	50%	なし
→	句点類	25%	25%	50%	なし
→	中点類	0%	0%	25%	なし

文字組みアキ量設定

文字組み: ツメ\_E 単位: %

後の文字クラス: 上記以外の和字

クラス内容の例: 至理社阿婆婆抜始

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	-3%	0%	0%	なし
→	終わり括弧類				
→	終わりかぎ括弧	0%	12.5%	50%	なし
→	終わり丸括弧	-3%	0%	50%	なし
→	その他の終わり括弧	0%	0%	50%	なし
→	読点類	0%	12.5%	50%	なし
→	句点類	12.5%	25%	50%	なし
→	中点類	0%	0%	25%	なし

文字組みアキ量設定

文字組み: ツメ\_F 単位: %

後の文字クラス: 上記以外の和字

クラス内容の例: 至理社阿婆婆抜始

例	後の文字クラス	最小	最適	最大	優先度
→	始め括弧類	-3%	0%	0%	なし
→	終わり括弧類				
→	終わりかぎ括弧	0%	0%	50%	なし
→	終わり丸括弧	-3%	0%	50%	なし
→	その他の終わり括弧	0%	0%	50%	なし
→	読点類	0%	12.5%	50%	なし
→	句点類	12.5%	25%	50%	なし
→	中点類	0%	0%	25%	なし

## ver.1の設定からの主な変更点

- (プリセットから引きずっていた)括弧類の内側の最大値の齟齬を解消(基本的には「0% = ベタ = アキなし」)
  - (同じく)和字間隔前後の最大値の齟齬を解消(基本的には「100%」)
  - 句読点・中点類・終わり括弧類の後の「あらかじめ隠されたアキ量」の発動による不要なアキ発生の可能性を排除(元「なし」から作成)
  - 区切り約物と他の全角文字との最大値の見直し(「0%」部分→「100%」)
  - ツメ組み用の全角文字同士の最大値の見直し(100% → 50%)
- 等々、多岐にわたりますが、従来の設定を使用したモノに適用しても、組版後の体裁が悪い方へ転ぶことはマズないだろうと考えています。

プリセットの「行末受け約物 全角/半角」

ただし、「行長（1行の文字数）」によっては「調整可能な箇所（量）」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」（括弧類の内側や丸括弧の外側）の最小値を負の値（minus）に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「（無理矢理に）発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは（「ベタ組み」が基本なので）難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_A

ただし、「行長（1行の文字数）」によっては「調整可能な箇所（量）」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」（括弧類の内側や丸括弧の外側）の最小値を負の値（minus）に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「（無理矢理に）発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは（「ベタ組み」が基本なので）難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_B

ただし、「行長（1行の文字数）」によっては「調整可能な箇所（量）」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」（括弧類の内側や丸括弧の外側）の最小値を負の値（minus）に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「（無理矢理に）発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは（「ベタ組み」が基本なので）難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_C

ただし、「行長（1行の文字数）」によっては「調整可能な箇所（量）」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」（括弧類の内側や丸括弧の外側）の最小値を負の値（minus）に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「（無理矢理に）発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは（「ベタ組み」が基本なので）難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

プリセットの「行末受け約物全角/半角」

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている（14種類の）「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は（14種類もあっても）殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、（ご自身のカスタマイズの参考にも）お気軽にご活用ください。

ベタ\_A

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている（14種類の）「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は（14種類もあっても）殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、（ご自身のカスタマイズの参考にも）お気軽にご活用ください。

ベタ\_B

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている（14種類の）「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は（14種類もあっても）殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、（ご自身のカスタマイズの参考にも）お気軽にご活用ください。

ベタ\_C

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている（14種類の）「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は（14種類もあっても）殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、（ご自身のカスタマイズの参考にも）お気軽にご活用ください。

ベタ\_A(全角/半角)

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_A・半角

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_B・半角

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_C・半角

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ベタ\_A(全角/半角)

本誌Vol.34などで分類したようにInDesignにプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合をcontrol」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご活用ください。

ベタ\_A・半角

本誌Vol.34などで分類したようにInDesignにプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合をcontrol」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご活用ください。

ベタ\_B・半角

本誌Vol.34などで分類したようにInDesignにプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合をcontrol」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご活用ください。

ベタ\_C・半角

本誌Vol.34などで分類したようにInDesignにプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ」「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合をcontrol」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご活用ください。

#### ベタ\_C・半角

ただし、「行長 (1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所 (量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値 (minus) に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に) 発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので) 難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

#### ベタ\_C・全角

ただし、「行長 (1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所 (量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値 (minus) に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に) 発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので) 難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

#### ベタ\_C・句読点全角

ただし、「行長 (1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所 (量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値 (minus) に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に) 発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので) 難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

#### ベタ\_C・句点のみ全角

ただし、「行長 (1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所 (量)」が不足する場合がありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値 (minus) に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に) 発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので) 難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

#### ベタ\_C・半角

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている (14種類の) 「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は (14種類もあっても) 殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも) お気軽にご活用ください。

#### ベタ\_C・全角

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている (14種類の) 「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は (14種類もあっても) 殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも) お気軽にご活用ください。

#### ベタ\_C・句読点全角

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている (14種類の) 「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は (14種類もあっても) 殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも) お気軽にご活用ください。

#### ベタ\_C・句点のみ全角

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている (14種類の) 「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は (14種類もあっても) 殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Download して、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも) お気軽にご活用ください。

プリセットの「行末約物半角」を元に行中約物の最適値0%/最大値50% ※以下すべて、メトリクスカーニング適用)

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合もありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ツメ\_D

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合もありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ツメ\_E

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合もありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

ツメ\_F

ただし、「行長(1行の文字数)」によっては「調整可能な箇所(量)」が不足する場合もありますので、さらに、「同じ約物でも最小値に差を持たせた」、計3種類の「文字組みアキ量設定」を作成しました。また「仮名」や特定の「約物」(括弧類の内側や丸括弧の外側)の最小値を負の値(minus)に設定して調整の集中を避け、「調整量を優先」をより活用できるように工夫しています。お読みいただいているテキストでは、「約物」を多用して、調整の必要を「(無理矢理に)発生」させてありますが、その差がこの「組み見本」でご確認いただけるかどうかは(「ベタ組み」が基本なので)難しいところでしょう。さて、どうでしょうか……

同左

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご利用ください。

ツメ\_D

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご利用ください。

ツメ\_E

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご利用ください。

ツメ\_F

本誌Vol.34などで分類したように InDesign にプリセットされている(14種類の)「文字組みアキ量設定」の内容の違いは、「行末約物の処理方法」と「段落先頭の始め括弧類の扱い」に集約されます。それ以外は(14種類もあっても)殆ど変わりはありません。「優先度」の「不自然な挙動」は共通していますし、「ツメル場合もアケル場合も同じ「優先度」では困りますね。今回提示した設定では、「優先度」を破棄し、「約物の役割に応じて調整の割合を control」するように工夫したつもりです。Downloadして、その挙動をお確かめいただき、(ご自身のカスタマイズの参考にでも)お気軽にご利用ください。

\*すべて、メトリクスカーニング適用、ぶら下がりはなし、調整量を優先、弱い禁則、日本語単数行コンポーザー(「文字組みアキ量設定」のみを変更)

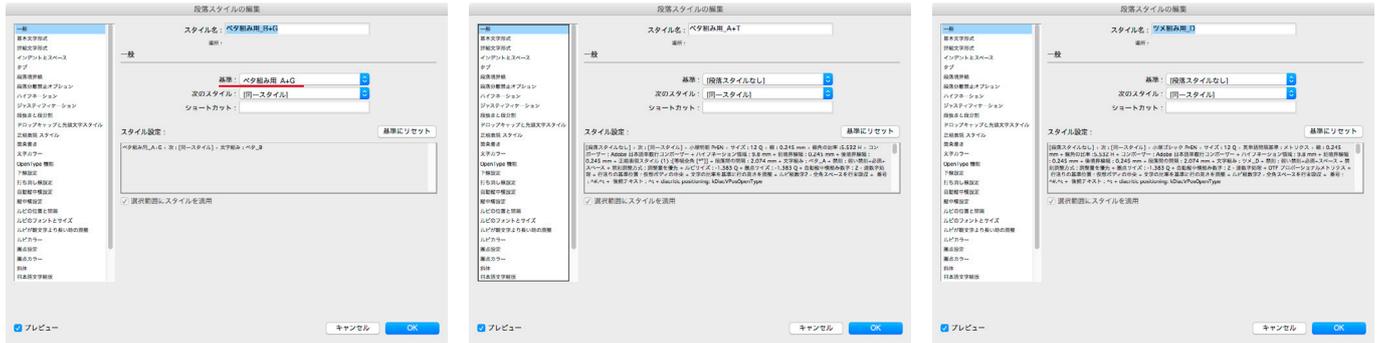
# ダウンロードされるドキュメントの「段落スタイル」について

## 「段落スタイル」の内容

主にフレームグリッドでを使用することを想定した「ベタ組み用\_A(B・C)+G」とテキストフレームでの使用を想定した「ベタ組み用\_A+T」、さらにツメ組み用の「ツメ組み用\_D(E・F)」の計7種類をセットしてあります(スタイルの親子関係にもご注意ください)。基本段落(工場出荷時設定)との差分としてキャプチャを掲げておきますので、差異をご確認いただき適宜変更(書体、文字サイズ(行送り)、カラー、文字組みアキ量設定など)のうえご利用ください。

※(書体及び文字サイズを変更することで)自動的に書き換えられる項目(「下線設定」「打ち消し線設定」「段落境界線」「ルビのフォントとサイズ」など)については割愛しました。  
 ※当然、このドキュメントだけに必要なスタイルも付随していますので、適宜削除して、「設定類を読み込むための元ドキュメント」として別名保存を…

### ●一般：主に「基本段落(工場出荷時設定)」との主な差分が「スタイル設定」欄に自動的に書き込まれています



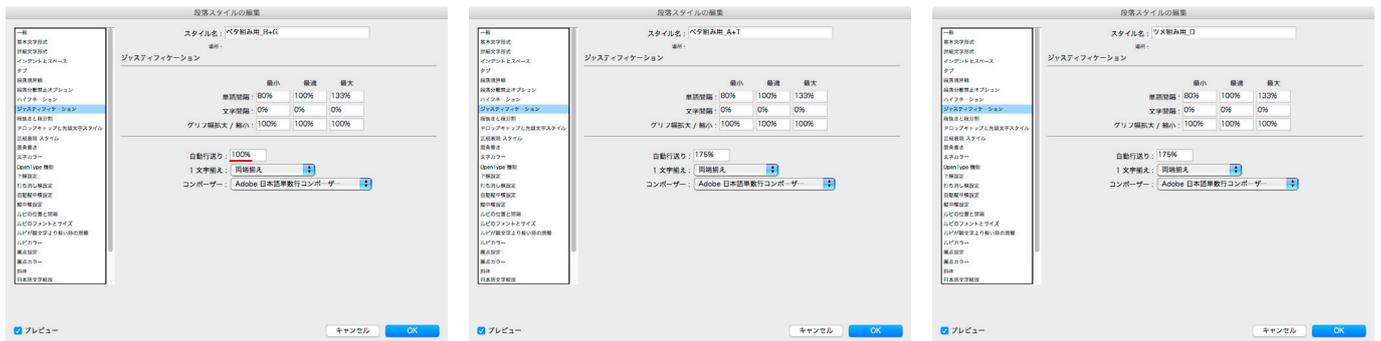
### ●基本文字形式：書体と文字サイズを変更し、「ツメ組み用」には「メトリクスカーニング」を適用しています



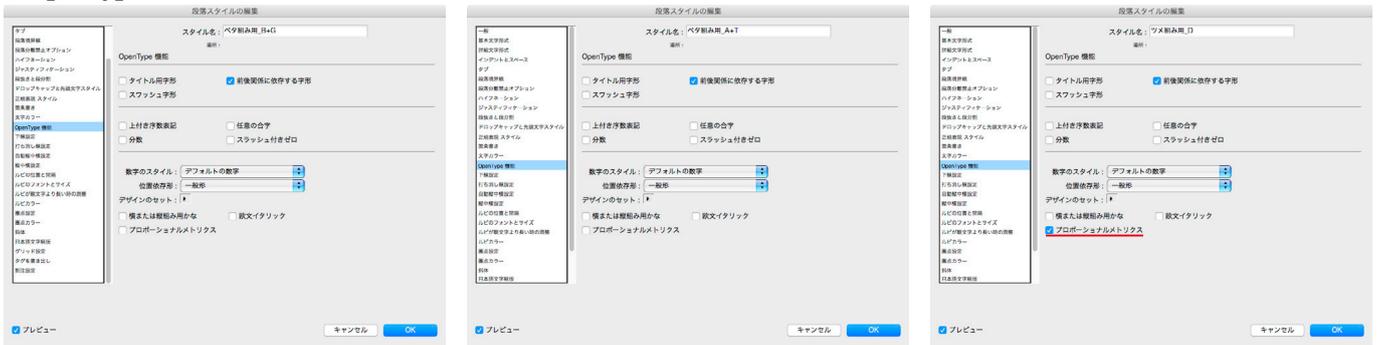
### ●詳細文字形式：フレームグリッドでの使用を前提とした「ベタ組み用\_X+G」は2箇所チェックが入っています(他は1箇所のみ)



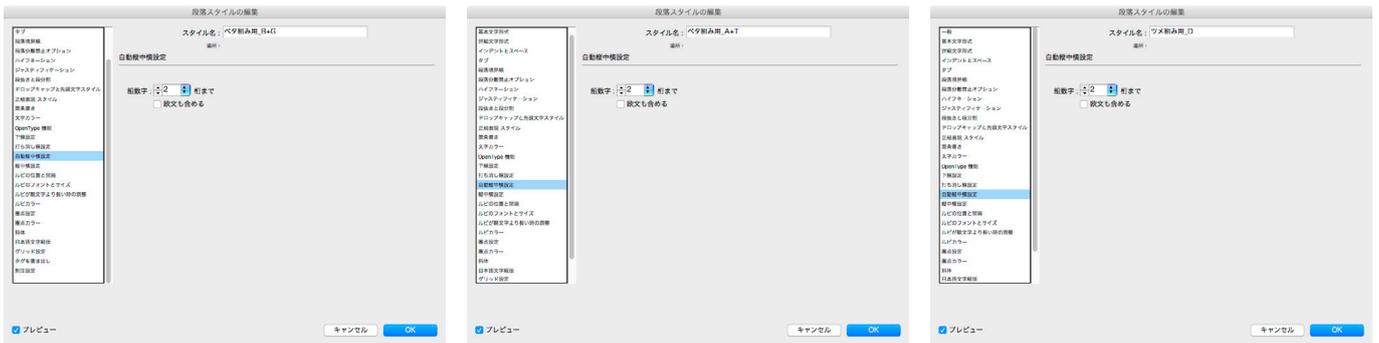
### ●ジャスティフィケーション：コンポーザーを「日本語単数行コンポーザー」に変更し、フレームグリッドでの使用を前提とした「ベタ組み用\_X+G」は「自動行送り=100%」としています



●OpenType機能:「ツメ組み用」は「プロポーショナルメトリクス」をONとしています



●自動縦中横設定: 組数字2桁までは自動的に縦中横が適用されるように設定しています



●日本語文字組版: 各部分を変更しています(A~Fはアキ量設定との関連を示します…※「ぶら下がり方法」は「なし」を基本に…)



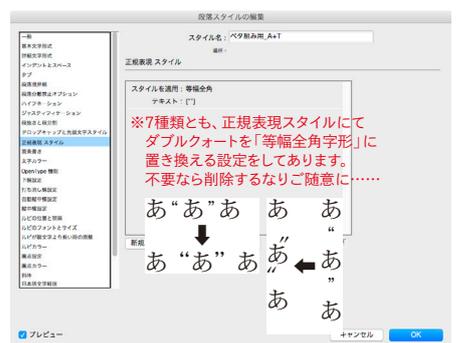
●グリッド設定: フレームグリッドでの使用を前提とした「ベタ組み用\_X+G」は「グリッド揃え=仮想ボディの中央」としてしています



※基本的に「グリッド揃え」「文字揃え」「行送りの基準位置」を「仮想ボディの中央」で統一していますが、  
 行取りに不具合が出る場合は「行送りの基準位置」を「仮想ボディの中央」以外に変更してください  
 ※これらは統一しておくことで、コントロールがし易くなります

**禁則処理セット「弱い禁則+必須+スペース」について**  
 プリセットの「弱い禁則」をベースに以下の文字を追加しています。

- 行頭禁則文字 U+3017/U+3019/U+301F/U+3035
- 行末禁則文字 U+3016/U+3018/U+301D/U+3033/U+3034
- 分離禁止文字 U+2015
- ぶら下がり文字 U+3000(「ぶら下がり」ON時に行頭に来る全角スペースがぶら下がります)



「文字組みアキ量設定」の全般的かつ詳細な解説については、+DESIGNING Vol.34・38をご参照ください